オプションの取り付け 11

はじめに

ご注意

本プリンタは、純正品／推奨品以外のオプションの使用は保証の対象外となります。

この章では、以下のオプションについて説明します。

オプション名	説明	オプション番号
メモリ（DIMM）	256 MB, 512 MB DIMM（DDR2-667,SO-DIMM, 166 MHz, 200 ピン ,NoECC, アンバッファ , CL=3） 搭載 SDRAM 容量：512 Mbits / 構成：64 Mwords × 8 bits	*
給紙ユニット	500 枚給紙トレイ付	*
ハードディスクキット	40 GB ハードディスク	*
CF アダプター	コンパクトフラッシュカード用アダプター	*
コンパクトフラッシュカード	256 MB, 512 MB, 1 GB, 2 GB, 4 GB	*
備考：* オプション品については、弊社ホームページにてご確認ください。		

ご注意

ハードディスクキットと CF アダプターは、同時に取り付けることはできません（どちらか一方しか取り付けることができません）。オプションを取り付ける際は、必ずプリンタの電源を切り、電源ケーブルを抜いてから作業をしてください。

静電気防止の対策

ご注意

コントロ－ラボードは、静電気にきわめて敏感です。コントローラボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意してください。
最初に電源スイッチを切っておいてください。静電気防止のリストストラップがある場合は、片方の端を手首に付け、もう片方の端をプリンタ背面の金属部分につけます。リストストラップを機器に決して触れないようにしてください。プラスチック、ゴム、木、塗装された金属面は、接地面になりません。
静電気防止のリストストラップがない場合は、コントローラボードや部品を取り扱う前に、接地面に触れて、身体に帯電している静電気を放電してください。また、放電後は、歩き回らないでください。再度帯電する可能性があります。

メモリ（DIMM）の取り付け

メモリ（DIMM）は、メモリチップが表面に載っている小型の基板です。

本プリンタには一つのメモリスロットがあり、コントローラボード上には256 MBのメモリがあらかじめ装着されています。メモリは一つのスロットを使用して実使用上最大768 MB（256 MB + 512 MB）まで拡張できます。

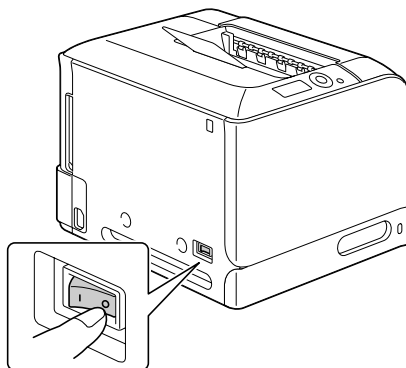
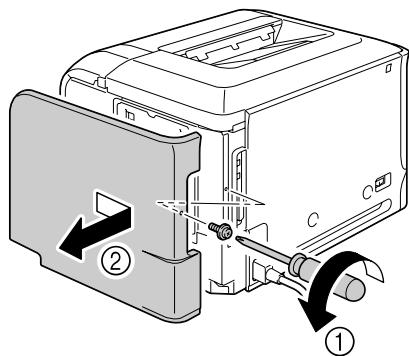
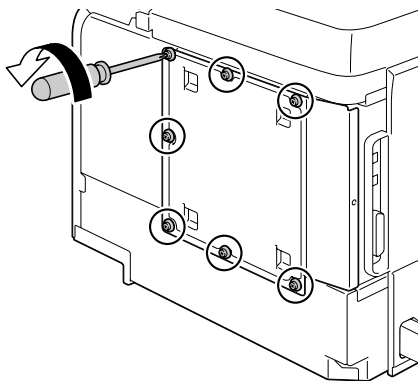
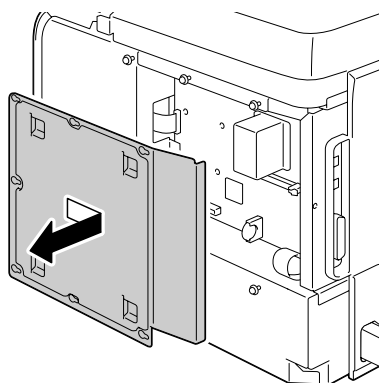
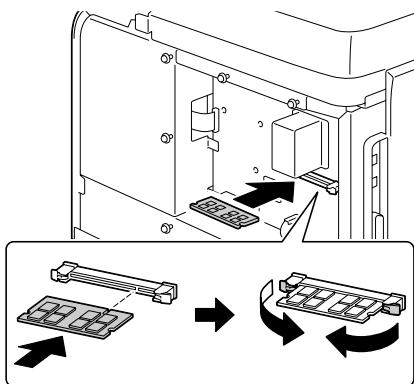
メモリ（DIMM）は、KONICA MINOLTA純正品のメモリ（DIMM）をご使用ください。

取り付けたメモリの使用可能容量は、メモリ容量の半分となります。

メモリの取り付けかた

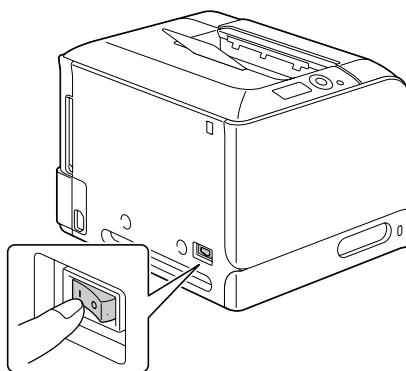
ご注意

コントローラボードや関連の基板、モジュールは、静電気にきわめて敏感です。コントローラボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意してください。この操作を行う前に、「静電気防止の対策」（p.285）に載っている静電気防止の注意を確認してください。また、触るときは基板の緑色部を持ってください。

1 プリンタの電源を切り、電源ケーブルとインターフェースケーブルを取り外します。

2 ドライバを使ってねじを取り外し（①）、背面のカバーを右へずらして取り外します（②）。

3 ドライバを使ってネジ 7 個をゆるめます。（ネジは取り外さないでください。）

4 金属パネルを右に少しずらし、プリンタから取り外します。

5 メモリの切り欠きを DIMM スロットに合わせて、留め金がロックされる位置にはまるまでまっすぐ差し込みます。
メモリのコネクタ部分がスロットに合っていることを確認します。
メモリをしっかり差し込むことができない場合は、無理に押し込まないでください。メモリが正しくスロットに差し込まれていることを確認して、もう一度取り付けてください。

6 金属パネルを取り付け、ゆるめたネジ 7 個をしめます。

7 背面のカバーを取り付けます。

8 インターフェースケーブルを接続します。

9 電源ケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。

10 「印刷ﾒﾆｭｰ」－「設定ﾘｽﾄ」で設定リストページを印刷して、メモリの総量を確認します。

11 装着したメモリがプリンタドライバで正しく認識されていることを確認します。

正しく認識されていない場合は、「プリンタドライバの初期設定／オプションの設定（Windows）」（p.33）を参照し、手動でオプションの認識を行ってください。

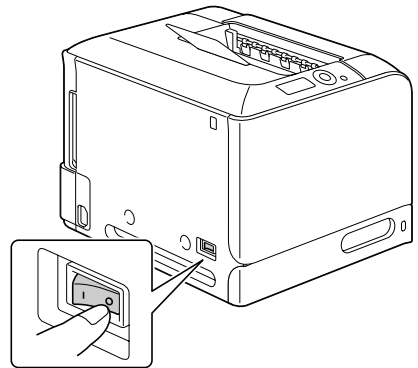
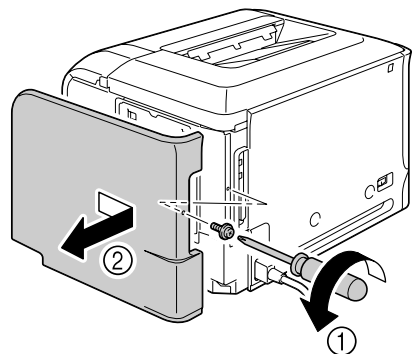
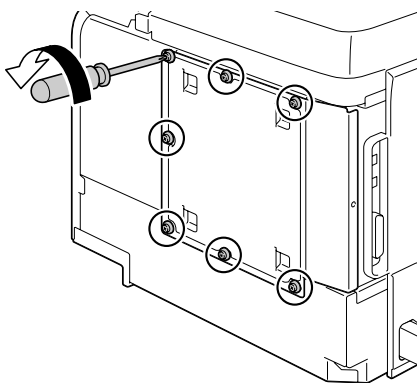
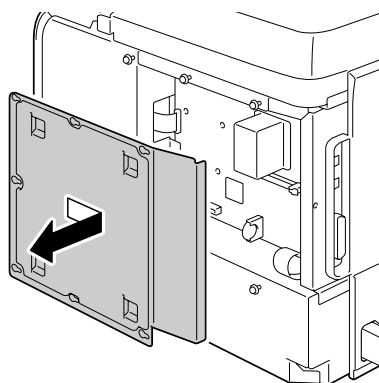
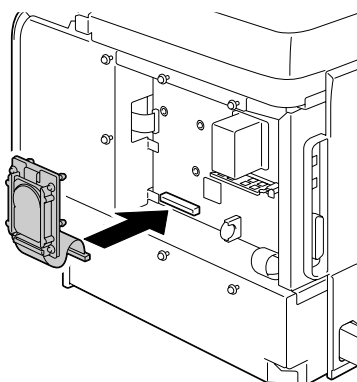
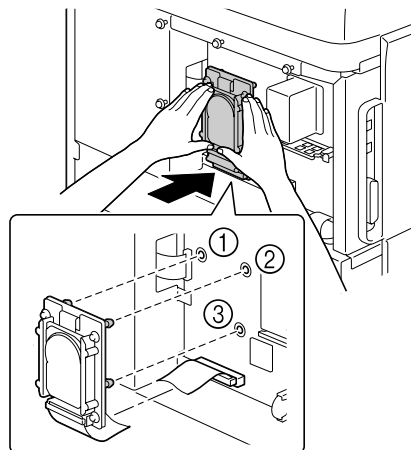
ハードディスクキットの取り付け

オプションのハードディスクキットを取り付けることで、ソート（部単位印刷）、ジョブの印刷 / 保存、フォント / フォーム / カラープロファイルのダウンロード、認証 / 部門管理、ダイレクトプリント、PageScope Direct Print（ユーティリティ）の使用が有効となります。
ユーザー使用可能エリアは 40 GB 中 18 GB になります。

ハードディスクキットの取り付けかた

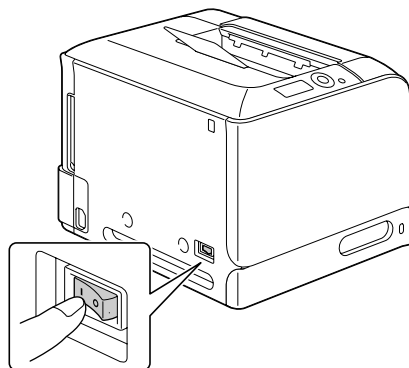
ご注意

コントローラボードや関連の基板、モジュールは、静電気にきわめて敏感です。コントローラボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意してください。この操作を行う前に、「静電気防止の対策」（p.285）に載っている静電気防止の注意を確認してください。また、触るときは基板の緑色部を持ってください。

1 プリンタの電源を切り、電源ケーブルとインターフェースケーブルを取り外します。

2 ドライバを使ってねじを取り外し（①）、背面のカバーを右へずらして取り外します（②）。

3 ドライバを使ってネジ 7 個をゆるめます。（ネジは取り外さないでください。）

4 金属パネルを右に少しずらし、プリンタから取り外します。

5 ハードディスクキットのケーブルをコントローラボードのコネクタに差し込みます。

6 ①、②、③の順でハードディスクキットの取り付けピン（3 箇所）をコントローラボードの穴に差し込み、ハードディスクキットをコントローラボードに固定します。

7 金属パネルを取り付け、ゆるめたネジ 7 個をしめます。

8 背面のカバーを取り付けます。

9 インターフェースケーブルを接続します。

10 電源ケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。

11 「印刷ﾒﾆｭｰ」－「設定ﾘｽﾄ」で設定リストページを印刷して、ハードディスクの容量を確認します。

12 装着したハードディスクがプリンタドライバで正しく認識されていることを確認します。

正しく認識されていない場合は、手動でインストール済みオプションに追加してください。詳しくは、「プリンタドライバの初期設定／オプションの設定（Windows）」（p.33）をごらんください。

コンパクトフラッシュの取り付け

オプションのコンパクトフラッシュカードを取り付けることで、ソート（部単位印刷）、フォント / フォーム / カラープロファイルのダウンロード、認証 / 部門管理、ダイレクトプリント、PageScope Direct Print（ユーティリティ）の使用が有効となります。

本機は、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB、4 GB のコンパクトフラッシュカードを使用できます。

ジョブの印刷 / 保存は、コンパクトフラッシュカードを取り付けても利用できません。オプションのハードディスクキットを取り付けると利用できます。

ハードディスクキットと CF アダプターは、同時に取り付けることはできません。

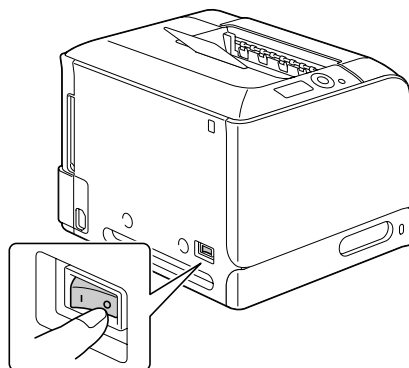
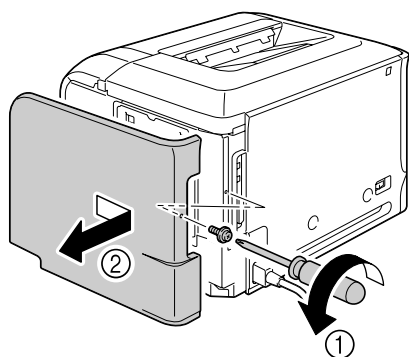
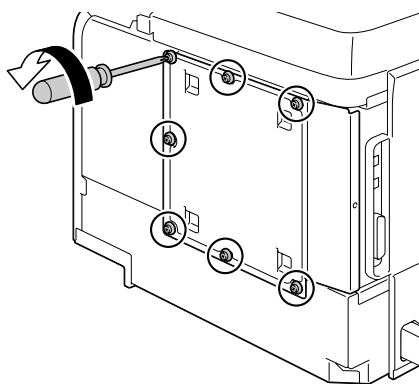
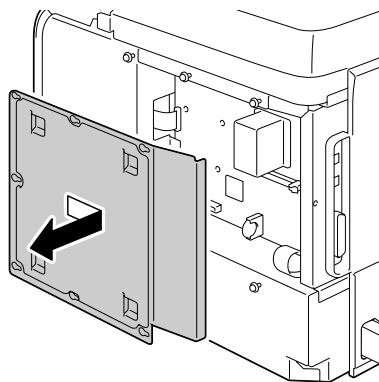
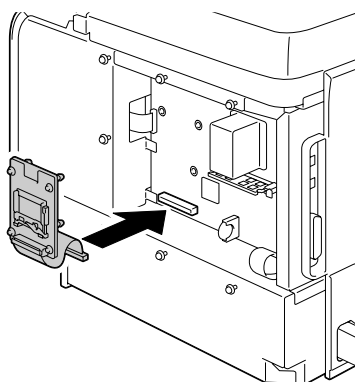
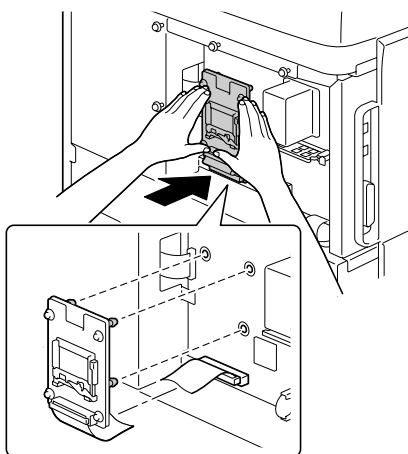
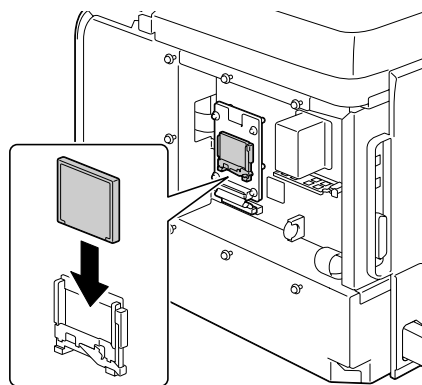
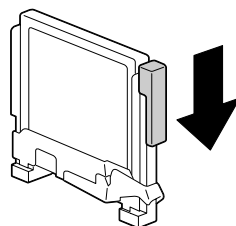
CF アダプターおよびコンパクトフラッシュカードの取り付けかた

ご注意

本機に取り付けたコンパクトフラッシュカードを他の装置（パソコンやデジタルカメラ）で使用した場合、コンパクトフラッシュカードは自動的に初期化され、カード内にあるデータは削除されます。

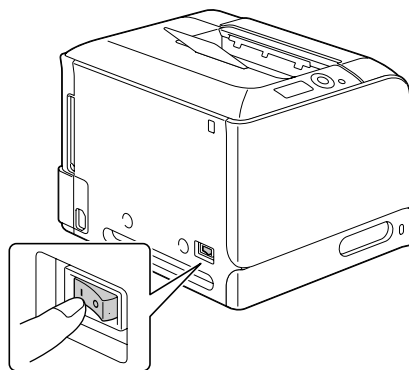
ご注意

コントローラボードや関連の基板、モジュールは、静電気にきわめて敏感です。コントローラボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意してください。この操作を行う前に、「静電気防止の対策」（p.285）に載っている静電気防止の注意を確認してください。また、触るときは基板の緑色部を持ってください。

1 プリンタの電源を切り、電源ケーブルとインターフェースケーブルを取り外します。

2 ドライバを使ってねじを取り外し（①）、背面のカバーを右へずらして取り外します（②）。

3 ドライバを使ってネジ 7 個をゆるめます。（ネジは取り外さないでください。）

4 金属パネルを右に少しずらし、プリンタから取り外します。

5 CF アダプターのケーブルをコントローラボードのコネクタに差し込みます。

6 CF アダプターの取り付けピン（3 箇所）をコントローラボードの穴に差し込み、CF アダプターをコントローラボードに固定します。

7 スロットにコンパクトフラッシュカードをスライドさせて、ロックされるまで押し込みます。

コンパクトフラッシュカードを取り外すときは、ボタンを下へ押してロックを解除してください。

8 金属パネルを取り付け、ゆるめたネジ７個をしめます。

9 背面のカバーを取り付けます。

10 インターフェースケーブルを接続します。

11 電源ケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。

12 「印刷ﾒﾆｭｰ」—「設定ﾘｽﾄ」で設定リストページを印刷して、コンパクトフラッシュカードの容量を確認します。

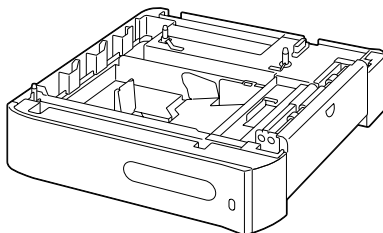
13 装着したコンパクトフラッシュカードがプリンタドライバで正しく認識されていることを確認します。

正しく認識されていない場合は、手動でインストール済みオプションに追加してください。詳しくは、「プリンタドライバの初期設定／オプションの設定（Windows）」（p.33）をごらんください。

給紙ユニット（トレイ 3）の取り付け

給紙ユニット（トレイ 3）を取り付けることができます。給紙ユニットには用紙を 500 枚までセットできます。

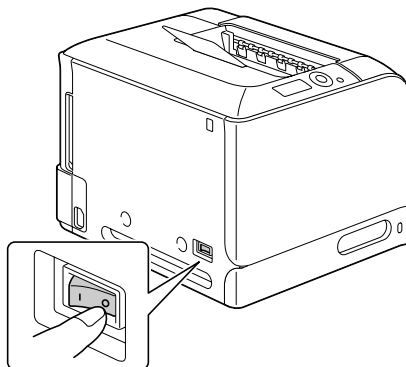
給紙ユニットの構成

■ 給紙ユニット（500 枚給紙トレイ付き）

給紙ユニットの取り付けかた

ご注意

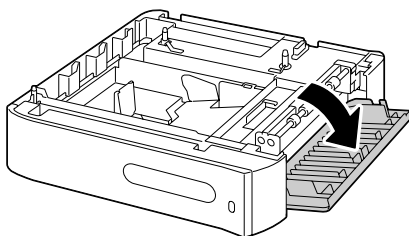
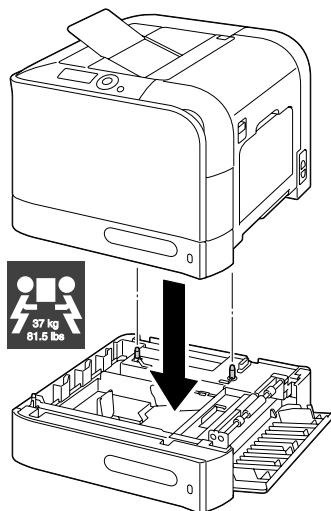
プリンタには消耗品が取り付けられているため、プリンタを動かすときは、トナーがこぼれないようプリンタを水平にして運んでください。

---

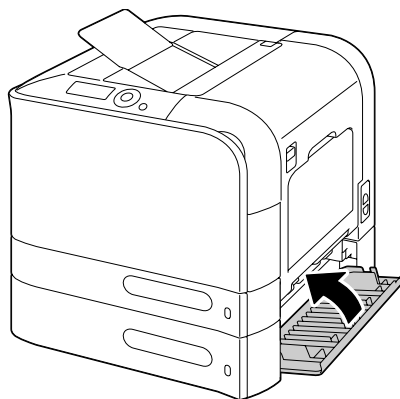
1 プリンタの電源を切り、すべてのケーブルを取り外します。

2 給紙ユニットを用意します。

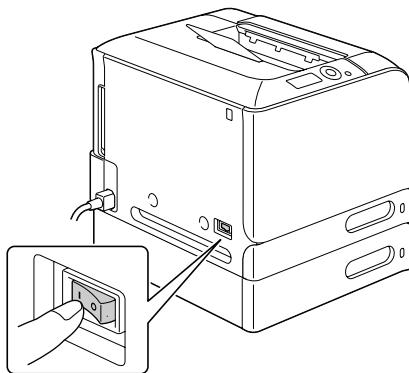
給紙ユニットは必ず平らな場所に置いてください。

3 給紙ユニットの右ドアを開きます。

必ず給紙ユニットの右ドアを開いてからプリンタをセットしてください。

4 プリンタを 2 人で持ち、給紙ユニットと位置決めピンをプリンタの底の受け穴にあわせて正しくセットします。

警告

本プリンタは消耗品を含めて約 44 kgの重量があります。プリンタを持ち上げる場合は、必ず 2 人で行ってください。

5 給紙ユニットの右ドアを閉じます。

6 インターフェースケーブルを接続します。

7 電源ケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。

8 「印刷ﾒﾆｭｰ」ー「設定ﾘｽﾄ」で設定リストページを印刷して、給紙ユニットが装着済みか確認します。

9 装着したトレイ 3 がプリンタドライバで正しく認識されていることを確認します。

正しく認識されていない場合は、「プリンタドライバの初期設定／オプションの設定（Windows）」（p.33）を参照し、手動でオプション認識を行ってください。